

1993年度研修部会報告（板橋研修室）

小 松 進
（法学部教授）
（法学研究所研修部会長）

1) 研修事業全般について

・本年も募集要項に掲載した研修計画に従って事業を行ったが、次の点は指摘しておく必要がある。第1は予算編成の段階から予想されたことではあったが、予算の抑制で研修の講座実施回数を20回から15回に削らざるを得なかったため担当講師・受講生の双方から苦情が続出した。可能なかぎり補講を行うなどの対応をしたが十分とはいえなかった。第2は、「板橋研修室における公務員コース」の実施をとりあえず今年度は控えることにした（なお、92年度研修部会報告参照）。

・本年は法学部創設20周年にあたり講演会・ホームカミングデー・祝賀会など多彩な記念行事が行われた。それらの中で1日も早く法学部から司法試験合格者が出ることを望む声が多く、また、本研究所に対しても強い期待が寄せられた。

・昨年同様3月に法学研究所活動のあり方を検討するため合宿が予定されている。研修事業の一層の発展と研究活動の活性化のための方策を立案することになっている。

2) 法職コース

・本年度の法職コースの状況については特に次のことを指摘しておかなければならない。東松山研修室の受講生の増加である。板橋研修室の受講生は例年通り少なかったが、東松山研修室の増加がめだった。これは1年生の数はほぼ昨年並なので2年生の継続者が多かったことによる。増加の原因を云々するのは時期尚早ではあるが、ここ数年来の研修室の整備、人員の配置、カリキュラムの整備等の改善が徐々に効果を現してきたものと思われるが、就中「合宿」の果たした役割は大きかったように思われる。ある程度の数の受講生が集まらなければ研修の効果も多くを望めないなのでこの傾向か今後も続くよう期待にしたいものである。

	91年度	92年度	93年度
91年入学	13（1年）	6（2年）	7（3年）
92年入学		37（1年）	27（2年）
93年入学			42（1年）
（1・2年生合計）		43	69

・合宿（6/19～20） 場所は昨年同様千葉県の白子海岸、1・2年生合同で実施。また、法学研究所のスタッフと法職コースの1・2年生との懇談会（12月09日）を東松山校舎で開催し受講生からの要望などを聞くとともに勉強方法などについて指導を行った。

・板橋研修室法職コース担当講師として新たに3名の若手弁護士を迎え、熱意あふれる指導をしていただいた。指導打合せ会（4月、7月、12月）。

3) 93年度開講科目等（板橋研修室分）

1) 受講者数

コース／学年	3年生	4年生・卒業生	計
法 職 コース	7	4	11
宅 建 コース	6	5	11
司法書士コース	3	0	3
合 計	16	9	25

2) 開講科目・担当講師

・法職コース

民法Ⅳ 高野耕一

刑法Ⅱ 井田 良

憲法演習 湯川二郎

民法演習 牧山嘉道

刑法演習 豊島住夫

・宅建コース

宅建取引業法 加曾利俊三

法令上の制限 加藤輝夫

総合演習 同

・司法書士コース

不動産登記法 小日向幸介

総合演習 同

商業登記法 足立啓明

司法書士法 梅田幸志

供託法 同